

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 長寿の郷真備

## 目標達成計画

作成日：令和 5 年 10 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束に関してさらなる具体的な対処方法を検討してほしい。	3原則は全社員が理解しているところだが、日常的な細かな部分における考え方のズレを修正し、全社員が同じ認識を持って取り組めるよう修正する。	3月に1度の身体的拘束適正化委員会や社員研修時(入社時および年間計画によるもの)において、利用者個々の具体的な事例を挙げ、全社員が考え方を共有できるよう取り組む。	12ヶ月
2	35 (13)	備蓄についてさらに検討実施されることを期待します。	有事に備えた備蓄の準備を進める。	BCP策定が大前提であり、当事業所に即した準備を研修や訓練を通して進めていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。